

宇治賦

宇治むかし。宇治の雅郎子帝位をいふと、寛小之筆えりて、
より。宇治の官名をいふと、又皇極の帝飛鳥川系の時比良一
行幸りて、一坂のてりて、尾花ありて、都を古跡も、多く
作り名蹟、旧覽、他小勝も、山の松の尾と堂、大垣山河ハ、
志と、いふ。まじしを、留る。松の崎、浮宮、小崎、味ハ、佐木、
佐えとせ、いふ。橋、中、以、間、ハ、淨明、一、乘り、功、比、鎌、
文録の城、小坂も、通、眞、茶、ハ、治、承、の、軍、小、官、ハ、
縣を、下し、寶、林、ハ、毎、本、小、松、を、ま、り、
佐、付、同、陣、小、高、倉、ハ、宮、の、塙、を、ま、り、
中、東、派、ハ、蓮、林、將、の、仲、孫、會、池、殿、宏、橋、ハ、
觀、流、亭、中、宿、ハ、送、琴、坂、ハ、斜、小、亀、石、ハ、
の、頃、の、結、反、ハ、す、と、い、ハ、綱、油、を、好、し、
の、野、ハ、年、の、圓、小、紫、を、ま、り、
水、魚、鱧、鱒、鮎、圓、柿、葉、白、風、如、皮、茶、ハ、
あり、さ、せ、え、隱、道、幽、棲、小、便、も、
方丈、ハ、小、園、の、名、を、見、白、も、
異、所、と、此、宇治、の、郡、を、い、し、

寛政四十五年晩夏

追加

洛東園崎隱士貞松誌

昔もつて子はほるといふあやな

如泥云

あつしや茶山のくまといはるる
やうのまぬまはつたもの

妙言 軍吏

應通圓子需貞松門人東都誦言云

